

広島にて

① 「サダコ像」

5月24日大会主催の「被爆ピアノコンサート」で明石市原爆被害者の会、岸本会長の挨拶で「サダコ像の少女は同級生だった」との話で、改めて見学した。銅像の周りの展示ケースには児童・生徒からの折り鶴が多く納められていた。



② 「アンデルセン」(9条の会 HP7月本田記事参照)

パンの老舗のアンデルセンの本店(広島市本通り商店街)に行き、被災時の様子が銘版に。開店前で入店できず残念だった。



③ 「ひょっこりひょうたん島」

この商店街を歩くと、「ひょっこりひょうたん島」の歌が流れていた。しかも、路面電車の車内にはアンパンマンの広告があり、被爆ピアノコンサートが思い出され、不思議な出会いだった。

④ 右翼の「街宣車」

街宣車の音がしたので、どこにいるのかと探したら、何と自転車だった。自転車の前部に大型スピーカーを付けて、大音響で車の間をスイスイ。「被爆者を出さないために軍備増強を！」の大宣伝。省力化で効果大?に感心する。20歳代の兄ちゃん。

⑤ 「被ばくピアノ」

被爆ピアノの矢川さんに、ピアノ資料館について問い合わせたところ、「遠くて車がないと行けない」とのこと。5~6日の平和公園での演奏時間は、それぞれ30分ほどで、その時間は集会のため参加できず残念だった。

長崎にて

① 神戸の人

宿泊ホテルは高台にあり、長崎駅が真下に見えるので散歩しようと、近道を探すと細い急な階段があった。途中墓場の中を歩いて10分ほどで駅方面へ。帰りは同じ道を上る。途中、葉巻を吸っているおじさんがいて、声をかけると、何と、その方の本籍地は神戸市東灘区本山。今は東京に住んでいるが、2か月に一回、この別荘に来ている(子どもの頃ここで育ったため)。家に上がれと誘われたが、厚かましい私も辞退した。



② 民泊?

今回の長崎大会にアメリカの3人家族が参加していた。30年前からホワイトハウス前で戦争反対の座り込み行動を行う有名なグループの代表者（82歳だが元気！）と娘と孫の大学生（全体集会で司会を務めた）。初日の集会終了後、ホテルまで送るよう頼まれ、タクシーにホテル名を伝えるが、2台の運転手は「知らない」と言う。3台目には、住所（ホテルに電話をするが通じない）を示し、とにかく行ってもらう。

到着した所が、普通の家の様子。あれ〜?! 入口ドアにパスワードなどを入力する操作盤がある。運転手はここで間違いないという。3人はネット予約したとのことだが、操作盤の前で立ちすくんでいた。私も最後まで見届けようとしたが、「OK, OK」と言って、私を帰らせた。

私はホテルに帰って、兵庫原水協に状況を伝えると、「別のホテルに行った」とのこと??。あのホテルは民泊で、3000円程度で泊まれるようだ。世の中の進歩についていけない自分を感じた。

小倉にて

① 線状降水帯

9日の長崎大会終了後は小倉の実家へ。翌日は、10時ごろから激しい雨。携帯電話に緊急避難情報のアラームが鳴り、テレビをつけると線状降水帯とのこと。激しい雨が15時くらいまで続いた。線状降水帯の初体験だった。16時頃に兵庫原水協から「新幹線が不通。アメリカ人たちが小倉駅で降ろされた。宿泊ホテルまでの対応」を頼まれた。実家から駅までのタクシーを呼ぶが、どこも「ない」との返事。雨は小降りになったのでバスで小倉駅へ。駅は人で大混雑。タクシー乗場にいると探すが、どの乗り場も50m位の人列。北口乗場で彼女ら3人に出会う。フランス人3人も一緒だった。結局、タクシーが来たのは何と5時間後の夜9時30分!

この間、日本人はただただ静かに待っているが、彼女たちは、遠くにタクシーが見えると「Come on!」と叫び、ジェスチャーでこちらに来るように振る舞い、予約車らしきが通り過ぎると「Oh, No!」と。そのしぐさが面白くて、5時間があっという間に過ぎた。途中、ドーナツを20個くらい買ってきて食べる。タクシーを見送ってヤレヤレ。なお、神戸でこの日に予定されていた歓迎会は彼女たちの参加がなかったため、エジプト大使一人の歓迎会になったとのこと。



② 小倉駅での見送り

翌日は最後まで面倒を見ようと、彼女たちのホテルまで車で迎えに行った。3人はタクシーで小倉駅まで行けたが、フランス人3人はタクシーの手配がつかず、ぎりぎりに駅に到着した。この日は在来線が不通で駅は大混雑。新幹線も遅れていたが、彼女たちを見送ってヤレヤレ。



③ 私の癒しは中学同級生との出会い

中学2年3年は同じクラスで担任の先生が素晴らしかったので、卒業後は宿泊旅行など含めて、9回もクラス会を行っている。同窓会では卒業後の各人の人生とは関係なく、瞬間に中学時代にタイムスリップしてしまう。今回の帰省でも同級生に出会ったが、話が弾んだ。雨の中、神戸に帰る私を駅まで見送ってくれた。本当にいい仲間だと感謝している。

神戸にて

「語りつごう兵庫の戦争展」主催の「8.15 平和の集い」が兵庫区・妙法華院であった。その場にあのフランス人3名が平和の連帯挨拶に来院。お互い、「ええー？」とびっくり。彼は、日本での平和運動を記録するために来たとのこと。19日に帰国したが、彼らの世話をする通訳の方の大変さを目の当たりにした世界大会でもあった。感謝の一言である。

(以上)